



## 第15号

富山県立南砺福野高等学校  
令和4年11月15日発行

### 「芸術の秋」を楽しもう

朝晩がだいぶ涼しく感じられるようになりました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋…。皆さんは、どんな秋を過ごしていますか。今号は、芸術の秋についてです。

#### ■芸術鑑賞（10月28日（金））

毎年実施している芸術鑑賞ですが、昨年、一昨年はコロナの影響で残念ながら中止となりました。しかし今年度は3年ぶりに開催することができました。三宅狂言会の方々による古典芸能「狂言」を鑑賞してもらいましたが、ワークショップにも積極的に参加してくれるなど、皆さんの鑑賞態度は素晴らしかったと思います。三宅狂言会の方々にも、皆さんの態度に好感をもっていただいたようです。



見る態度、聞く態度が演者のよさをさらに引き出す、ということは往々にしてあると思いますが、毎日の授業においても同じことが言えます。皆さんの授業態度がよいと、先生方がよりよい授業をしてくれるはずです。集中して聞くことはもちろんですが、不明な点について質問したり、授業中の活動に積極的に参加したりするなど、皆さんの主体的に学ぶ姿勢がよりよい授業につながり、ひいては皆さんの授業に対する理解がさらに深まるはずです。



#### ■美術館・博物館等へ出かけてみよう

県内で狂言などの古典芸能を見る機会はありませんが、芸術に触れるチャンスはあります。例えば県内には美術館や博物館などの施設が数多くあります。小・中学校時代に校外学習等で訪れた施設もあると思いますが、まだ行ったことがない所もたくさんあるでしょう。意外と知られていない事実ですが、県内の多くの美術館・博物館は「高校生以下無料」です。気になった施設があれば足を運んでみてはどうでしょうか。きっと新たな発見があるはずですよ。

【参考URL】以下のサイトから検索してみよう！

○富山県博物館協会 HP <http://museums.toyamaken.jp/area/>

※美術館・博物館などのリスト。地図上で施設を探すこともできます。

○とやまの文化遺産（とやまの文化遺産魅力発信事業実行委員会） <https://toyama-bunkaisan.jp/>

※富山の文化遺産を検索できます。富山県には世界遺産、ユネスコ無形文化遺産、国宝、日本遺産など、世界に誇る文化遺産があります。先日、高岡市の勝興寺が瑞龍寺に続き、県内2件目の国宝に指定されるとの報道がありました。こうした文化遺産は、富山県民であれば一度は見ておきたいものです。

#### おすすめの美術館・博物館等

県内の美術館・博物館等はほぼ全て訪れましたが、その中から高校生の皆さんに見てもらいたいと思う施設を独断と偏見で選んでみました。（少し遠いところにある施設も含まれますが、行きにくいところは保護者の方に連れて行ってもらいましょう。）

## ○富山県美術館

旧富山県立近代美術館の開館当初からの理念とコレクションを継承し発展させて新たに2017年に開館した、県内最大の美術館です。20世紀初頭から現在に至る美術の流れを、世界・日本・富山の3つの視点から展望できます。また、ポスターと椅子を中心としたデザインコレクションが特徴的で、ポスターはタッチパネルで好きな作品を大きく表示して楽しむこともできます。屋上庭園「オノマトペの屋上」は特に子供に人気があり、晴れた日には立山連峰を一望できます。

併せて[富山県水墨美術館](#)にも行ってほしいところです。「水墨」とありますが、水墨画に限らず、例えば竹内栖鳳や横山大観、菱田春草など近代を代表する画家や、下保昭、篁牛人、岩崎巴人など富山県にゆかりのある画家の作品を見ることができます。



屋上からの眺望(2019年4月撮影)

## ○高志の国文学館

富山県は、万葉歌人・大伴家持が223首もの歌を詠んだ越中万葉ゆかりの地です。富山の素晴らしい風景と歌を紹介する体感型装置「万葉とぼし」はぜひお試しを。また、角川源義や源氏鶏太、堀田善衛といった県出身の作家に加え、富山を舞台にした文学作品、また映画では滝田洋二郎、本木克英、漫画では藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>、藤子・F・不二雄など、富山ゆかりの作家や作品の魅力を幅広く発信しています。館長は、新元号「令和」の考案者とみられている万葉集研究の第一人者、中西進氏です。



開館式での記念植樹(2012年7月撮影)



氷見市潮風ギャラリー(2021年8月撮影)

なお、万葉集については、[高岡市万葉歴史館](#)に行けば大迫力のプロジェクトマップで大伴家持と越中万葉の世界を体感できます。

また、藤子不二雄関連では、[高岡市美術館](#)の「高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」や[氷見市潮風ギャラリー](#)の「藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>アートコレクション」も必見です。

## ○富山市ガラス美術館

複合施設「TOYAMA きらり」内にあり、図書館が併設されているので行ったことがあるという人もいます。日本を代表する建築家である隈研吾氏設計の建物を見学するだけでも楽しいですね。富山市は世界有数のガラスの街と言われており、多くのガラス造形作家の方が在住されています。ガラス美術館では、富山ゆかりの作家の作品が数多く展示されています。

また、富山市ファミリーパークの近くには[富山ガラス工房](#)があり、ガラス作品の制作体験ができます。



TOYAMA きらり内部(2019年4月撮影)

## ○セレネ美術館

セレネ美術館は宇奈月国際会館内にあり、「黒部峡谷の大自然を、絵画芸術を通して未来へ伝える」ことを基本理念としています。平山郁夫、塩出英雄、福井爽人、田淵俊夫、竹内浩一、手塚雄二、宮廻正明の作品と同作家の黒部峡谷を描いた作品が常設展示されています。黒部峡谷の

美しさを改めて実感できます。また、宇奈月出身でフランス在住の洋画家、戸出喜信が長さ9メートルもの大作として描き出した「黒部川」(写真撮影可能)も展示されています。すごい迫力です。

立山も忘れてはなりません。[富山県\[立山博物館\]](#)、[富山県立山カルデラ砂防博物館](#)にも行ってみましょう。5月に3年生が遠足で行った立山博物館では、立山の歴史と立山信仰、そしてその舞台となった自然が紹介されています。また総面積約13ヘクタールの広大な敷地の中に展示館、遙望館、まんだら遊苑、布橋、教算坊をはじめとする施設が点在しており、見応えがあります。カルデラ砂防博物館では、立山や立山カルデラの自然と歴史及びそこで行われている砂防事業が紹介されており、大自然の魅力と驚異、立山砂防についての理解を深めることができます。



戸出喜信「黒部川」(2021年10月撮影)

### ○[南砺市立福光美術館](#)

南砺市福光ゆかりの版画家棟方志功、日本画家石崎光瑤などの作品が常設展示されています。特に「世界のムナカタ」の作品は必見。女性や仏をモチーフにした作品が多く、そのダイナミックな作風は見る者を強烈に惹きつけます。分館である棟方志功記念館「愛染苑」にもぜひ行ってみたいと思います。志功が住んでいた住居も再現されています。



南砺市立福光美術館(2020年2月撮影)

### ○[井波彫刻総合会館](#)

井波と言えば彫刻の町ですが、欄間や獅子頭・天神様・衝立・パネルなどの作品から、井波で長年培われてきた彫刻技術の高さが伺えます。とても人の手で彫られたとは思えないほど見事な作品が展示されています。ちなみに井波彫刻は、2018年5月、[《宮大工の鑿\(のみ\)一丁から生まれた木彫刻美術館・井波》](#)として、日本遺産に認定されました。

なお、木彫刻・和菓子などの工匠さんたちの工房が隣接しており、実演が見られます。伝統の技が間近で感じられます。



令和の御座「薫風」(2021年9月撮影)  
※座って写真を撮ることもできます。

## ◇最近の行事より

### 1年普通科・国際科「総合」講演会(11/1)



富山国際大学の助重雄久先生に、地域課題学習のガイダンスをしていただきました。

### 第31回 HELIOS 音楽祭(11/3)



ヘリオスで行われ、地域の小学生から社会人までがコーラスや楽器演奏等を披露しました。本校からは合唱部、吹奏楽部が出演しました。



## 南砺福野高校「校長室だより」ご質問・ご意見投稿フォーム

下のURLをクリックするか、右のQRコードをスマホ等で読み取ってください。

<https://forms.gle/VNcvKUZbYPWsj8nj7>

